

市民協働事業提案制度 相互評価シート

令和6年度実施事業

令和7年1月19日

事業名	夏休み親子リサイクル探検ツアー		
団体名	NPO法人富士市のごみを考える会	担当課名	廃棄物対策課

■（１）市民協働の観点から

「目的の共有」「役割分担」「十分な意思の疎通」「対等性」「相乗効果・波及効果」についての成果・課題や、双方の評価点が異なる場合の協議内容など。

リサイクル施設を見学し、ごみの分別の重要性を啓発するという目標を共有して進めることができた。受託団体と市の双方にとって初めての取組であり、参加者募集方法や実施体制など手探りの状態であったが、事業を進めるにあたっては、相互に十分な意見交換ができていたと考える。本事業の参加者は、体験したことをSNS等を通じて発信し、外への波及を行えたことは、今後につながる成果と考える。

■（２）事業内容の観点から

「目的・目標の達成」「事業スケジュール」「費用対効果」「市民満足度」についての成果・課題や、双方の評価点が異なる場合の協議内容など。

事業の最終的な目的は、ごみの分別の重要性を認識しごみの減量化につなげることであり、受託団体と市の双方で認識している。繰り返し実施していくことと、実施結果をSNS等を用いての広報を続けていくことが重要と考えている。市のリサイクルやごみの分別の啓発には有効だったと考えている。費用対効果の面では、ごみ減量の効果で量ることはできないが、参加者アンケートの結果から参加者の満足度は高かったと評価している。

■（３）その他、課題やその改善方法など

受託団体は、普段よりごみの減量化等の啓発に携わっており、廃棄物についての豊富な知識を持っている。ただし、本事業は初年度であることから、参加者の募集に苦労した。今後、効果的な募集方法を検討する必要がある。本事業の開催による課題を活かし、次年度以降の事業を改善したい。
